

(別紙1)

大阪市東住吉区農空間創出による地域活性化実証実験協働事業者募集にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

- 1 案件名称
大阪市東住吉区農空間創出による地域活性化実証実験協働事業者募集
- 2 選定した事業予定者
一般社団法人グッドラック
- 3 公募期間
令和7年11月11日から令和7年12月15日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

氏名	所属
米田 淳	大阪市空家等対策協議会委員
佐久間 康富	和歌山大学 システム工学部 環境デザイン学領域 建築・ランドスケープメジャー 教授
下村 泰彦	大阪公立大学 名誉教授

(2) 選定会議の開催日
令和7年12月23日

(3) 審査基準

評価項目	評価事項／評価の視点	
A 事業概要	地域住民や来訪者が緑と農に親しむことができる空間	・東住吉区まちづくりビジョンの内容に沿った提案となっているか。
		・空間の整備計画（貸農園面積・区画面積・区画数・貸農園以外の空間整備内容等）は適切か。
		・農初心者でもフォローアップできるような仕組みとなっているか。
B まちづくり	地域活性化	・住民の健康増進と地域コミュニティの醸成が期待できるか。
		・交流人口の増加に資するなど、今後のまちづくりに有益な影響を期待できる取組を実施できるか。
C 施設整備計画	駐車対策等、周辺住環境への配慮	・駐車対策等、周辺住環境への配慮がなされているか。

D 事業運営計画	管理運営体制と 広報集客の工夫	・事業規模、内容に応じ、適切な管理運営体制が確保され、災害時等の非常時における安全管理が考慮されているか。
		・安定的な事業運営に向けた広報集客の工夫がされているか。
		・利用しやすく、適切な料金設定となっているか。
E スケジュール	事業実施に向けたスケジュールの実現性	・スケジュールは具体的かつ実施可能なものとなっているか。
F 資金計画書	事業実施力	・事業期間中において適切かつ現実性のある収支計画を見込んでいるか。

- (4) 審査を行った事業者（五十音順）
一般社団法人グッドラック 全1者

- (5) 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）

評価項目	審査内容	配点	A社
A 事業概要	・東住吉区まちづくりビジョンの内容に沿った提案となっているか。	10点	8点
	・空間の整備計画（貸農園面積・区画面積・区画数・貸農園以外の空間整備内容等）は適切か。	10点	7.3点
	・農初心者でもフォローアップできるような仕組みとなっているか。	5点	3.3点
B まちづくり	・住民の健康増進と地域コミュニティの醸成が期待できるか。	15点	11点
	・交流人口の増加に資するなど、今後のまちづくりに有益な影響を期待できる取組を実施できるか。	15点	9点
C 施設整備計画	・駐車対策等、周辺住環境への配慮がなされているか。	10点	6.7点
D 事業運営計画	・事業規模、内容に応じ、適切な管理運営体制が確保され、災害時等の非常時における安全管理が考慮されているか。	10点	5.3点
	・安定的な事業運営に向けた広報集客の工夫がされているか。	5点	3点
	・利用しやすく、適切な料金設定となっているか。	5点	4点
E スケジュール	・スケジュールは具体的かつ実施可能なものとなっているか。	10点	6点
F 資金計画書	・事業期間中において適切かつ現実性のある収支計画を見込んでいるか。	5点	3点
合 計		100点	66.6点

各選定委員による採点の平均が、審査基準に示す各項目区分（大分類）の全てにおいて配点の1／2以上であることから、A社を本事業の協働事業者として選定する。

(6) 附帯意見

- ・災害時等の非常時における安全管理について、東住吉区役所と具体的な対応について十分に調整を行い、利用者の安全確保を図ること。
- ・用地管理、イベントの企画・誘致を行うにあたり、農空間の創出という事業目的に沿って、事業主体として年間計画を策定する等して東住吉区役所と調整を行い、計画的に実行すること。さらに、各年度末までには進捗状況を報告・確認することにより事業改善を図るといったPDCAサイクルを回しながら、事業推進すること。
- ・ファミリー層等の利用者と高齢者を含む周辺地域の方々が様々な形で接点を持たれるよう運営に努めること。
- ・イベントの開催にあたっては、駐車場、駐輪場の利用スペースと混在しないよう十分な安全確保を行うこと。